

寸言

双日エアロスペース株式会社
代表取締役社長
竹内 幹男



更なる成長をめざして

私たち双日エアロスペース株式会社は、双日(株)船舶・宇宙航空本部と連携し、宇宙・航空・防衛・セキュリティー関連機器を取り扱う双日グループの専門商社です。1975年に日商岩井エアロスペース(株)として設立し、2008年にはニチメン(株)を母体とする双日アビシス(株)と合併し、現在では国内3拠点（東京・名古屋・大阪）海外6拠点（ニューヨーク・ロスアンゼルス・セントルイス・メサ・シアトル・ロンドン）を核に国内外で事業展開しております。

“エアロスペース”と社名に入っております通り、設立時にはF-4/F-15等の軍用機用装備品及び関連支援機材の輸入・国内取引が主でした。しかし、現在では“空”から“海”、そして“陸”、更には“宇宙”・“セキュリティー”へと、防衛のみならず民間をも含めた事業領域に於いて、各種多様な関連機器・システムの輸出入・国内取引、及び提携先の持つ様々な先端技術の事業化への取組と業容を拡げてまいりました。

地域的な特色としては、やはり日本国内のお客様との取引が圧倒的に多く、今後も重要な市場であると捉えています。しかし、更なる成長を果たすには海外市場の一層の掘り起

こしを図ることが課題とっております。民間航空機分野では、1970年代からの部品・部材の輸出に始まりボーイング767/777/787プログラムに於ける機体・エンジン・機器の開発・供給へと日本航空産業界は事業を拡大され今後更なる発展が期待されています。防衛分野においても武器輸出三原則の緩和が政治的課題として取り上げられてきており新たな展開が期待されます。又、根強い航空機需要が予測されるアジア地域に於いて新たなビジネス機会が出てくると感じております。乗り越えるべき課題は多々ありますが、需要と供給、会社と会社を結ぶという商社の基本機能を発揮して日本航空宇宙工業会会員各社のご支援が可能な市場であると捉えております。

弊社としましてはお客様の多様なニーズにお応えできる様に、的確な情報収集と市場調査・分析結果に基づいた各種プロモーション、コンサルティング、契約、そしてロジスティックサポート迄、あらゆる業務を弊社内で戦略的に統合し付加価値の高いサービスをご提供できるよう努力してまいり所存です。今後も、各企業の皆様のパートナーとして、宇宙航空産業の発展に少しでも貢献できますよう尽力してまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。